

【施設状況】

グループ名称	更北公民館、稲里・小島田・真島分館								
指定管理者名	更北地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3340	更北公民館							
	3338	更北公民館稲里分館							
	3336	更北公民館小島田分館							
	3337	更北公民館真島分館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【本館】多目的ホール 1、陶芸実習室 1、料理実習室 1、児童室 1、図書室 1、小会議室 1、学習室1～6 各1、集会室 1 【稲里分館】多目的ホール 1、和室 1、調理室 1、集会室 1 【小島田分館】多目的室 1、和室 1、図書室 1、学習室 1 【真島分館】大会議室 1、調理実習室 1、講義室 1、学習室 2、会議室 6								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	更北地区住民自治協議会			指定回数	2 回
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5年	管理運営開始日 平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
	利用者数	人	65,338	54,637	50,729	26,269	52%	
	利用率	%	35.0	35.1	32.6	20.8	64%	
	分館(3館)利用者数	人	33,536	31,915	30,197	18,222	60%	
	分館(3館)利用率	%	18.6	19.9	19.8	14.9	75%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、公民館(4月16日～5月15日)、分館(4月16日～5月31日)を休館とした。開館後も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。								

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由	3
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更北公民館の利用許可に関する業務</li> <li>・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・更北公民館の設備及び維持管理に関する業務</li> <li>・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務</li> <li>・更北公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務</li> <li>・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務</li> </ul>		
	自主事業	提案を求めている		

サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館報 2回/年 発行。ホームページの更新で情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。</li> <li>・講座の開催等は、従前の地域への回覧やホームページでの講座の予定を掲載し、新規利用者の増加につなげた。またYouTubeチャンネルを立ち上げ講座等を紹介している。</li> </ul>
--------------------	---

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者へは、利用簿に要望等の欄を設け記入を依頼するとともに利用簿返却時等に聞き取りを実施した。</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座 28講座(54回) 講座参加者数 1,801人 うち アンケート回答者数 348人 満足 272人 78.2% やや満足 74人 21.3% やや満足 2人 0.5%</p>	
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 「方丈記に学ぶ」多くの受講申し込みがあった。マスクをしながらでも音読ができよかったですと好評であった。 「勇気づけ勉強会」対人関係に自信が持てない、発達障害児の保護者、更生保護に携わる人、地域で人の話を聞く仕事をしている人等さまざまな立場の人が参加し延べ95人が受講し、家庭や地域で子どもや他人の弱さを受け止めるやわらかな視点を持てる良い機会となったと好評であった。 「クリスマスツリー作り講座」フレッシュハーブという珍しい材料(ローズマリー)を使いリースを作成した。良い香りに包まれて楽しかったと好評であった。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ・講座を受講している高齢者からマイクが反響して聞きづらい、マイクを介しての音は聞き取りづらいとの話があった。</p> <p>《対応措置》 ・講師が使用するマイクは反響が少なくなるよう調整を行った。また、講師へはゆっくりと話してもらうよう依頼した。</p>		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	2,066,000	利用料金	1,195,742	使用料	20,500	使用料	36,250	3
	指定管理料	24,813,000	指定管理料	24,813,000	雑(納付金)	6,820	雑(納付金)	31,475	
支出	委託料		委託料		行政財産目的外使用料	447,188	行政財産目的外使用料	447,188	
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入	51	その他		その他		
	計	26,879,000	計	26,008,793	計	474,508	計	514,913	
自主事業	人件費	10,858,000	人件費	10,784,496	指定管理料	24,813,000	指定管理料	24,608,000	
	設備管理費	3,137,000	設備管理費	2,915,506	委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費	946,700	需用費	145,772	需用費		
	修繕費	815,000	修繕費	727,878	役務費		役務費		
	光熱水費	5,500,000	光熱水費	4,942,403	使用料・賃借料		使用料・賃借料	28,025	
	事業費	2,280,000	事業費	1,195,200	修繕費		修繕費		
	事務経費	2,936,000	事務経費	1,965,357	工事請負費		工事請負費	3,430,900	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	1,353,000	その他	1,230,500	その他		その他		
	計	26,879,000	計	24,708,040	計	24,958,772	計	28,066,925	
自主事業	収入		収入						
自主事業	支出		支出						
自主事業	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		1,300,753	差引	-24,484,264		-27,552,012	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								43.6%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※ すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員3人(3人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

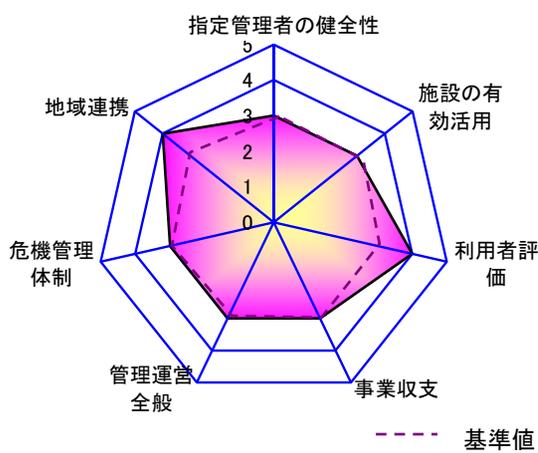
6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。                      ①地域住民及び地域の各種団体等の連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。                      ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。                      ③地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。                      ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。                      ⑤他施設(社会福祉施設・社会教育施設・観光施設等)と広域的に情報収集や連携交流を図る。                 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。 ①地域住民及び地域の各種団体等の連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。 ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。 ③地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。 ⑤他施設(社会福祉施設・社会教育施設・観光施設等)と広域的に情報収集や連携交流を図る。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。 ①地域住民及び地域の各種団体等の連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。 ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。 ③地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。 ⑤他施設(社会福祉施設・社会教育施設・観光施設等)と広域的に情報収集や連携交流を図る。				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 66 
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点		66	
評価理由	施設利用者は、26,269人で令和元年度50,729人と比較すると51.8%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 「方丈記に学ぶ」をはじめ、1回の講座受講者が多く、満足度も高いものとなっている。またYouTubeチャンネルを立ち上げ広く講座の様子を紹介し広報に努めたことを評価した。 【地域連携を4とした理由】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、発表の機会が失われた子供たちの書道展等や地域サークルの展示及びギャラリートークを公民館のロビーで開催するなど地域の活動の場を提供したことを評価した。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。		

指定管理者自己評価	
<p>(1) 今年度の取組みに対する評価</p> <p>① サービス向上に向けての取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新で情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。</li> <li>・映像やインターネットの活用を更に広げようと更北公民館YouTubeチャンネルを立ち上げた。</li> <li>・講座の開催等は、従前の地域への回覧や館報、ホームページでの講座の予定を掲載し、新規利用者の増加につなげた。また公民館ロビーに講座やサークルの活動を紹介するモニターを設置し毎日放映を行い来館者に活動を紹介している。</li> <li>・「地域の文化財」というテーマで、地域の歴史研究会がロビー展及びギャラリートークを実施した。回数を重ねるごとに参加者も増えた。コロナ禍の中で発表の場がなくなった子どもたちの書道教室等でロビー展を行い施設の有効利用に繋がった。</li> <li>・コロナ感染症対策のため休館中に10年間ほど行う事が出来なかった図書室にある8200冊の蔵書点検を行い除籍本・寄贈本の事務処理を行い図書室が整備された。</li> </ul> <p>② 業務の効率化に対する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間10,000冊程の利用貸出図書数に対しバーコード管理化が順調に進み、利用集計、返却期限遅延利用者把握等効率的に取り組むことができた。</li> <li>・日頃の経費節減に努め、施設の修繕等施設利用者の利便性向上に繋がるように努めた。</li> <li>・新規講座開設のために講師との連携を密にし、内容の充実を図るとともに、受講者アンケートやコミュニケーションを大切に対応した。</li> </ul> <p>③ その他</p>	
<p>(2) 指定管理者業務実施上の課題</p>	
<p>(3) 総合評価</p> <p>① 評価理由</p> <p>分室の図書にバーコードを添付し、データ管理ができるようになった。これにより返却時期延滞利用者の把握や図書の管理がしやすくなった。また、休館中に分室の蔵書点検を実施することができた。 講座は感染防止対策を徹底し、計画どおり実施することができた。</p> <p>② 次年度以降の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートに基づき、希望の多い講座(地域の歴史や文化に関わる講座、防災の継続的な啓蒙と地域防災の講座、男性が参加しやすい講座)を積極的に開講する。</li> <li>・児童生徒・子育て世代を対象とした長期(夏・冬・春)休みを活用した講座を開催する。</li> <li>・男性が参加しやすい講座を企画する。</li> <li>・「公共建築物保全マニュアル」に基づく点検を行い施設の適正な管理に努める。</li> </ul>	<p>指定管理者 自己総合評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p>